

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 牧 誠
 (氏名) 松尾 民男

TEL 052-619-1551

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	27,891	△10.8	439	△79.1	471	△77.6	283	△76.3
21年3月期第1四半期	31,266	—	2,105	—	2,106	—	1,195	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	12.76	—
21年3月期第1四半期	52.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	48,722	28,673	57.9	1,270.48
21年3月期	52,080	28,652	54.2	1,271.29

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 28,224百万円 21年3月期 28,242百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	56,400	△10.3	500	△78.3	500	△78.7	300	△71.2	13.49
連結累計期間	123,500	2.7	2,400	12.6	2,400	6.3	1,600	126.1	71.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 22,237,873株 | 21年3月期 | 22,237,873株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 22,483株 | 21年3月期 | 22,393株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 22,215,415株 | 21年3月期第1四半期 | 22,767,613株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高が前年同期を10.8%下回る厳しい結果となりました。これは世界的な経済環境の悪化を受け、法人、個人ともにパソコン関連の出費を抑えたため、関連する周辺機器市場も縮小を余儀なくされたことによるものです。当社グループはこのような厳しい状況に対応し、シェアを確保する一方で原価低減と経費削減に努め利益面では期初の計画を上回りましたが、売上減少の影響が大きく前年同期比では大幅な減益となりました。

主要な製品別の状況は以下の通りです。

メモリ製品では、パソコンのメモリ初期搭載容量が大容量化し、メモリモジュールの追加購入需要が減少したことにより、主力のメモリモジュールの販売台数が前年同期比27.6%減少しました。また、DRAM(半導体部品)価格の急激な低下により販売価格が低下し、売上高は前年同期比45.8%減少しました。

USBメモリに代表されるフラッシュ製品においては、昨年来海外からの低価格品の流入が続き競争が激化する中、懸命な販売努力により販売台数は増加しましたが、メモリモジュールと同様に販売価格が低下し、売上高では前年を下回る結果となりました。

ストレージ製品では、主力のハードディスク製品において販売価格低下に苦しみながらも高シェアを維持し、販売台数を前年同期比27.4%伸ばすとともに付加価値製品を投入しましたが、価格競争から脱しきるには至らず、売上高は前年同期比5.9%増加に留まりました。

NAS(ネットワーク接続ハードディスク)製品につきましては、海外での需要低迷が響き、売上高は前年同期比15.3%減少となりました。

ネットワーク製品は、厳しい環境にもかかわらず前年同期比ほぼ横ばいの販売台数を維持し、売上高は前年同期比8.0%の減少となりましたが、利益率の高い無線LANを中心に利益面で貢献しました。

デジタルホーム製品では、従来のアナログTVを活用できる地デジチューナーを発売し、今後大きく成長が見込まれるデジタルホーム市場に具体的な一歩を踏み出しましたが、前年同時期発売のフルセグチューナーには及ばず、販売台数は前年同期比を上回りましたが、売上高は前年を大きく下回る結果となりました。

また、サプライ・アクセサリ製品は販売努力により、売上高は前年同期比5.1%の伸張となり、利益面でも貢献しました。

近年、売上高の伸びが高かった海外子会社の売上高は、北米では前年に比べ18.7%減、欧州では24.5%減となりましたが利益面では改善し、当第1四半期におきましては海外子会社全体で黒字化いたしました。これは海外市場での販売製品の絞込みを行い、シェアを勘案しつつも各製品群の利益を注視する方針に転換したことによるものです。

これらにより、当第1四半期の売上高は278億91百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益4億39百万円(同79.1%減)、経常利益4億71百万円(同77.6%減)、四半期純利益2億83百万円(同76.3%減)となりました。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成21年3月期 (第1四半期累計期間)		平成22年3月期 (第1四半期累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	4,820	15.4	2,614	9.4	△45.8
フラッシュメモリ	2,472	7.9	2,286	8.2	△7.5
ストレージ	9,567	30.6	10,133	36.3	5.9
NAS	3,495	11.2	2,961	10.6	△15.3
ネットワーク	5,315	17.0	4,889	17.5	△8.0
デジタルホーム	1,298	4.1	772	2.8	△40.5
サプライ・アクセサリ	2,153	6.9	2,262	8.1	5.1
DOS/Vパーツ	865	2.8	888	3.2	2.7
液晶ディスプレイ	425	1.4	334	1.2	△21.4
サービス	687	2.2	616	2.2	△10.3
その他	166	0.5	129	0.5	△22.3
合計	31,266	100.0	27,891	100.0	△10.8

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は487億22百万円となり、前期末に比べ33億58百万円減少しました。流動資産は430億25百万円となり33億19百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少34億87百万円によるものです。固定資産は56億96百万円となり38百万円減少しました。

負債合計は200億48百万円となり、前期末に比べ33億79百万円減少しました。流動負債は181億5百万円となり33億61百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少15億85百万円と、その他流動負債の減少17億43百万円によるものです。固定負債は19億43百万円となり17百万円減少しました。

純資産の部は286億73百万円となり、前期末に比べ21百万円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は113億88百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は4億24百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億36百万円、売上債権の減少39億9百万円の資金増加に対し、たな卸資産の増加15億38百万円と、仕入債務の減少21億円の資金減少があり、加えて法人税等の支払12億62百万円を行ったことによるものです。なお法人税等の支払は、主として預り源泉所得税の納付によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は6億96百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出10億円、有形固定資産の取得による支出1億59百万円の資金減少と、定期預金の払戻による資金増加5億12百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は4億22百万円となりました。これは主に配当金の支払3億77百万円と長期借入金の返済45百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月24日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,388	13,412
受取手形及び売掛金	15,203	18,690
商品及び製品	5,916	5,281
原材料及び貯蔵品	5,342	4,392
その他	4,226	4,616
貸倒引当金	△51	△47
流動資産合計	43,025	46,345
固定資産		
有形固定資産	1,430	1,487
無形固定資産		
のれん	119	130
その他	2,451	2,568
無形固定資産合計	2,571	2,699
投資その他の資産		
その他	1,922	1,807
貸倒引当金	△227	△258
投資その他の資産合計	1,694	1,549
固定資産合計	5,696	5,735
資産合計	48,722	52,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,347	15,933
未払法人税等	69	96
役員賞与引当金	1	6
その他	3,686	5,430
流動負債合計	18,105	21,467
固定負債		
退職給付引当金	683	631
役員退職慰労引当金	519	514
リサイクル費用引当金	157	219
その他	582	595
固定負債合計	1,943	1,960
負債合計	20,048	23,427

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	26,715	26,810
自己株式	△57	△57
株主資本合計	28,433	28,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	5
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	△278	△290
評価・換算差額等合計	△208	△285
新株予約権	4	4
少数株主持分	444	405
純資産合計	28,673	28,652
負債純資産合計	48,722	52,080

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	31,266	27,891
売上原価	24,452	23,513
売上総利益	6,814	4,378
販売費及び一般管理費	4,709	3,938
営業利益	2,105	439
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	11	5
為替差益	—	35
その他	26	19
営業外収益合計	44	63
営業外費用		
支払利息	2	0
デリバティブ評価損	34	22
その他	6	8
営業外費用合計	43	31
経常利益	2,106	471
特別利益		
固定資産売却益	1	28
貸倒引当金戻入額	—	30
リサイクル費用引当金戻入額	—	73
受取補償金	9	—
過年度損益修正益	1	—
その他	1	—
特別利益合計	14	132
特別損失		
固定資産売却損	0	0
子会社整理損	—	15
事務所移転費用	—	7
過年度損益修正損	4	40
その他	0	4
特別損失合計	5	67
税金等調整前四半期純利益	2,114	536
法人税、住民税及び事業税	263	99
法人税等調整額	596	114
法人税等合計	859	213
少数株主利益	59	39
四半期純利益	1,195	283

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,114	536
減価償却費	223	278
のれん償却額	10	10
受取利息及び受取配当金	△17	△8
支払利息	2	0
デリバティブ評価損益(△は益)	34	22
売上債権の増減額(△は増加)	5,984	3,909
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,554	△1,538
仕入債務の増減額(△は減少)	823	△2,100
未払費用の増減額(△は減少)	△271	70
未収消費税等の増減額(△は増加)	136	△96
その他	59	△254
小計	3,545	828
利息及び配当金の受取額	17	8
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△2,628	△1,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	△424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000
定期預金の払戻による収入	—	512
有形固定資産の取得による支出	△150	△159
無形固定資産の取得による支出	△485	△74
その他	4	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631	△696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33	△45
配当金の支払額	△387	△377
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420	△422
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△216	△1,511
現金及び現金同等物の期首残高	12,428	12,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,211	11,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

当社グループは、コンピュータ周辺機器の製造・販売を主事業としている専門メーカーであり、当該事業の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

当社グループは、コンピュータ周辺機器の製造・販売を主事業としている専門メーカーであり、当該事業の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	26,321	288	1,795	2,860	31,266	—	31,266
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,344	3,815	7	476	7,644	△7,644	—
計	29,666	4,104	1,803	3,337	38,911	△7,644	31,266
営業利益 (又は営業損失△)	2,203	△51	△37	16	2,130	△25	2,105

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	23,687	280	1,461	2,462	27,891	—	27,891
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,402	2,498	5	58	4,965	△4,965	—
計	26,089	2,779	1,466	2,521	32,857	△4,965	27,891
営業利益 (又は営業損失△)	410	14	6	△5	425	13	439

[海外売上高]

前第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	アジア オセアニア	北米	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	960	1,795	2,860	5,616
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	31,266
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.07	5.74	9.15	17.96

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア オセアニア	北米	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	1,196	1,461	2,462	5,120
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	27,891
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.29	5.24	8.83	18.36

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。